

製品名: INCENP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81154**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	105.4kDa

抗原情報

遺伝子名	INCENP
別名	INCENP
遺伝子 ID	3619.0
SwissProt ID	Q9NQS7
免疫原	大腸菌で発現したヒト INCENP (AA: 369-583) の精製された組み換え断片。

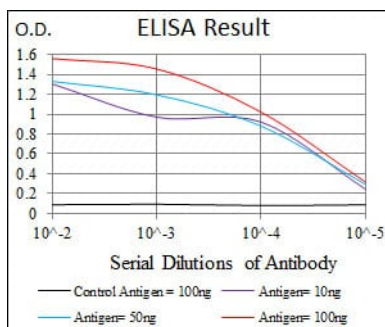
背景

哺乳類細胞では、セントロメアと相互作用するタンパク質は、恒常的に結合するセントロメアタンパク質と、「パッセンジャー」、つまり一時的に相互作用するタンパク質の2つの大きなグループに分類されることがわかっています (Choo, 1997 による)

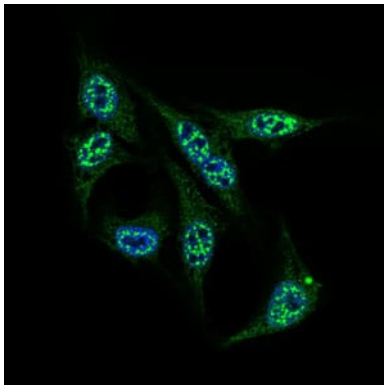
ビュー)。恒常的に結合するセントロメアタンパク質には、CENPA (セントロメアタンパク質 A、MIM 117139)、CENPB (MIM 117140)、CENPC1 (MIM 117141)、CENPD (MIM 117142) などがあります。「パッセンジャータンパク質」という用語は、細胞周期の特定の段階でセントロメアに局在する幅広いタンパク質の集合を包含します (Earnshaw and Mackay, 1994 [PubMed 8088460])。これらには、CENPE (MIM 117143)、MCAK (MIM 604538)、KID (MIM 603213) などがあります。細胞質ダイニン (例: MIM 600112)、CilP (例: MIM 179838)、CENPF/ミトシン (MIM 600236) など。パッセンジャータンパク質群の初期メンバーである内側セントロメアタンパク質 (INCENP) (Earnshaw and Cooke, 1991 [PubMed 1860899]) は、有糸分裂初期には染色体に沿って広く局在するが、細胞周期が中期中期に進むにつれて徐々にセントロメアに集中する。終期には、これらのタンパク質は細胞間橋の中央体に位置し、細胞質分裂後にそこから廃棄される。

研究分野

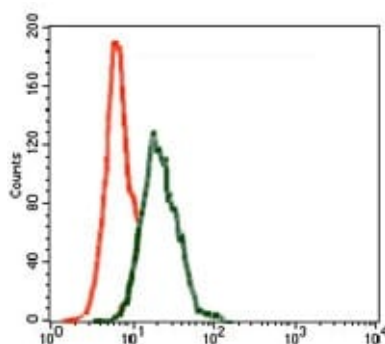
画像データ



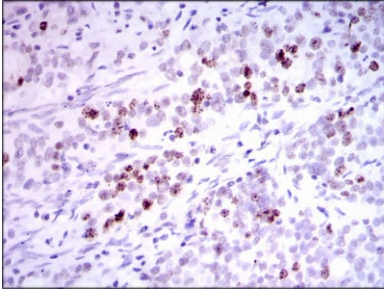
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



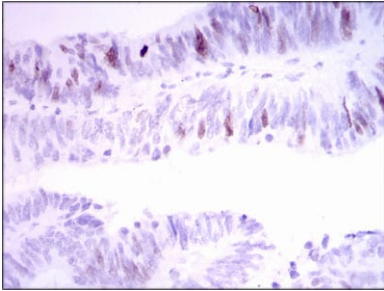
INCENP マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



INCENP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



INCENP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



INCENP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。